

研究代表者: Jessica Hao Ning Lee

研究課題名: 学習・教授過程に関する国際比較研究

所属・学年: 政策・メディア研究科・修士課程 1 年

研究概要:

generic skills は一般的・汎用的な技能という意味である。それは、generic skills の習得により、家庭教育と社会教育を通して自らの学習、思考、実践する能力、豊かな創造性、人間性、社会性を育成させることを目的として大学卒業後の就職に役立ことを、目標としている。台湾と日本が generic skills の先進国であるカナダとの国際比較を通して、各国の利点と欠点を詳しく理解することにより、大学教育改革に重要な影響を与えることが期待できる。

研究計画:

<generic skills の定義>

generic skills とは、社会で生きて行くために必要な知識活用能力で、定義や表現は、以下の欄のように少しずつ異なるが、同じような性質の教育政策が特に先進諸国で始まっている。知識を得るための教育から、知識を得ながらそれを活用する教育へ、新しい教育方法に注目が集まっている。そして、認知的な能力だけでなく対人関係的な能力や人格特性・態度なども含む人間の全体的な能力に及んでいくことで、教育目標や評価内容として位置づけられ、教育課程の中に組み込まれつつある。

国	日本	台湾	カナダ
名称	generic skills	共通能力	Employability skills
定義	Critical thinking Vocational skills Transferable skills Communication skills	Critical Thinking Collaboration Communication Innovation/creativity	Basic/fundamental skills People-related skills Conceptual/ thinking skills Personal skills and attributes Skills related to the business world Skills related to community

<研究背景>

現在、日本と台湾は共に 18 歳人口の減少と大学設置基準緩和の結果、大学進学者の増加に伴い、学力面と非学力面とも、新入学生の多様性と質の低下が問題になっている。多くの大学が大学全入で、多くの国民が大学学位を持つという時代である。ゆえに、現在の台湾と日本の社会は知識基盤社会へ移行し、就職活動における学位の価値は低下している。高等教育の普遍化が課題となる中で、generic skills の必要性は今後一層高まることが予想される。日本では 2011 年から、大学設置基準の改正が始まり、大学における社会的・職業的自立に関する指導等、すなわち大学教育を通じた『就業力』の育成が義務化された。

同様の状況に直面する中で台湾は、来年 2014 年から義務教育を従来の 9 年間から 12 年間に延ばす予定である。台湾の教育機関は学生達の進学圧力を減らし、就職のために必要な能力を多角的に育むことが望ましいとしている。さらに、国際経済の目覚ましい変化に伴い、日本も国際競争力を維持させるため、終身雇用制度の継続が困難になった。その結果、平均して 3 人に 1 人が 3 年以内に転職をしている。一方台湾では、高学歴を持っていながら、なかなかいい仕事を見つけられないジレンマに陥る若者が多い。つまり、欧米諸国と同様に一生涯に数回就職先を変える時代に転換する時期にきた。高等教育を済ました者には、generic skills という力を身につけさせ、社会や職場で自立して生涯を送ることができるよう支援すべきである。大学を卒業した人材には、知識を活用するために必要な創造的思考、分析、問題解決などの力、柔軟性、自律性のある個性、団体参加、リーダーシップなどの能力

も総合的に要求されるのである。

<generic skills 教育の位置づけ>

カナダの generic skills は大学で行われていると考えられがちであるが、実際には幼稚園、小学校、高校の各段階において、すでに固い基盤ができつつある。生徒達が教科書よりも実演課程に沿って、一貫しての独立能力とコミュニケーション能力と問題解決能力と集団生活を営む能力が育成される。それに対して、日本や台湾では一般的に試験中心の教育体制が敷かれている。その中で生徒らは、長期間にわたって大学受験のための勉強に労力を費やさなければならない。そのため、カナダのコミュニティーセンターが行っている課外教育に参加するような時間は確保できない。

さらに、家庭教育を通して、北米に違っているアジアの文化背景の故に年長の方の意見に反対することもできなく、同僚圧力を受け、徐々に批判的思考力を失ってしまうことは望ましくない結果である。幸いに、日本では現在、学士課程における generic skills 教育への関心が高まっている。学生達は大学で学問上の専門分野により、自発的な学習という指導手法に改革している。慶応大学の SFC は現在、教授間で連携することにより、学生の学習意欲を高める試みを行っている過程にある。それに対して、台湾も各企業が雇用制度の変更について、来年から 12 年義務教育を実施する。台湾の教育省は幼少期から国際的な潮流に触れられるという意味で、generic skills の導入を重要視している。

<期待される成果>

私がカナダと日本と台湾三国間の generic skills 教育に関しての国際比較というテーマを研究する目的としては、日本もカナダも経済、政治、工業、医学、農業などにおいて、先進国と見做されている点で共通しているが、民族や社会構造には大きな違いがあるため、両国間の教育制度や手段、方針などには相違点が多くみられる。国民の一生涯に役に立てる教育を行いたい心が一緒である。generic skills が低年級から始まるカナダの教育システムがもたらした良さを日本の高等教育改革に僅かながらの貢献が与えることができたら満足です。そして、日本の文化背景に似ている台湾もその国際比較を通して利得を得ることになると期待する。このことも、台湾の基礎教育や日本高等教育などの改革に参考になれるものであるかもしれないと思う。

研究活動計画

第1段階：文献研究：generic skills における評価・教育方法にかんする既存研究を調査し、整理する。

第2段階：現状分析：日本国内で行われている generic skills にかんするセミナーや学会などの活動に参加する。

第3段階：インタビュー調査の企画及び実施

3-1 台湾の現役教員らに対して面接を行う。

—各段階(小、中、高、大学)で勤めている先生に12年義務教育により generic skills 教育対策、授業手法の変化及び児童・生徒に期待する学習成果。

質問項目/設問リスト：

Q1: 新しい制度の推行に従って、学校機関や先生について教育作法はどうすれば学生の学習成果を確認することができか。

Q2:学校のカリキュラム編成はどのように変えるか。

Q3:台湾の大学は大学の新入生についてどのような能力を期待するか、そして、大学教育を通して専門知識以外にどのような技能を教えるつもりであるか。

Q4:どのような教育手法を採用するか、理由はなにか。

Q5:台湾の教育を通じて、中学、高校の各段階においてそれぞれの生徒にどのような能力を習得してもらいたいのか。

面接の対象／選定理由：各段階の現役教育専門家と面接することについてより深く、詳しく台湾で行われている教育の現状を把握することができる。実際に generic skills の授業を行い、受ける教員(4名)と生徒学生達(数名)

面接の対象の選定基準：実際に generic skills の授業を行い、受ける先生と学生達

- ① 復興國民小學: 王儷蓉 校長/ 学生
- ② 國民中學: 校長/ 学生
- ③ 金甌女中: 楊永清 先生/ 学生
- ④ 中華科技大學: 徐慧霞 教授/ 学生

3-2 カナダで generic skills を課程に加える教授(2名)と generic skills の授業を受ける学生達(2名)に個人面接を実施する。

面接の対象／選定理由：Current professors and faculty members in Education Department from Simon Fraser University in order to have clear view toward the educational methodology and curriculum structure.

面接の対象の選定基準：Participants who have experienced in educational field in Canada and is currently working in the facilities(high school and university). Also, the students who have been accepted or currently accepting high school education in Canada.

質問項目／設問リスト：

Q1: How does the concept of Employability skills has been used into the university and high school curriculum?

Q2: As a professor in Canada how do you think about the learning outcome between those college students who have accepted Canadian education since kindergarten and those who does not?

Q3: What is the most common teaching methodology of employability skills in Canada?

Q4: What kind of role have both critical thinking and communication skills been played in high school and college level? How do those two skills been helped when those students enter the working field?

Q5: What is the key ability that students should gain when they are receiving the education in each level in order to success in the future?

- ① Simon Fraser University: (1) David Kaufman, Department of Education
(1) Faculty members of International Education
- ② Richmond Christian School: Current students (2) , teachers (1)
- ③ Simon Fraser University: current students (2)

第4段階：調査データの分析

インタビュー資料の整理、秋学期中に収集した資料を整理分析する。

<今年の進展>

今年の年末は台湾の先生方々と一応会って、研究内容を説明した。そして、三月の面接や授業観察などの時間を予約した。